

平成21年度北陸ブロック大豆現地検討会開催要領 (「耕うん同時畝立て密植栽培技術」について)

1 趣旨

近年、国際的な穀物需給が逼迫する中、国産農産物の安定供給が求められている。このような中、食料自給力・自給率の向上に結びつく大豆等の作物については、水田等を有効活用し需要に応じた生産の拡大が推進されている。加えて、国産大豆の単収・品質の高位安定化や生産コスト低減等による合理化・効率化を目指した取組のためには、大豆300A技術等の新技術の普及を推進する必要がある。

本検討会では、富山県富山市において耕うん同時畝立て密植栽培技術等の新技術に係る実証圃場の視察を行うとともに、関係者間の情報共有を通じて大豆の高品質安定生産に資することとする。

2 日時

平成21年9月28日(月) 13:00~16:00

3 場所

(検討会) 大沢野ウェルネスリゾートウィンディ 会議室

(富山県富山市春日96-1 TEL 076-468-3333)

(現地視察) 富山県富山市東大久保 試験圃場 小雨決行

4 内容

(検討会) 13:00~14:45

(1) 大豆の安定生産と土壌水分管理について

中央農業総合研究センター大豆生産安定研究チーム長 島田 信二氏

(2) 耕うん同時畝立て密植栽培技術について

中央農業総合研究センター北陸水田輪作研究チーム長 細川 寿氏

(3) 田畑輪換体系に伴う窒素肥沃度の低下について

中央農業総合研究センター北陸水田輪作研究チーム主任研究員 大野 智史氏

(現地視察) 15:10~16:00

(1) 耕うん同時畝立て密植栽培技術実証圃場(品種:「エンレイ」「東山213号」)

(2) 不耕起密植栽培技術実証圃場(品種:「エンレイ」)

5 主催者

北陸産大豆振興協議会(事務局:北陸農政局)、(社)全国農業改良普及支援協会

6 参加者

生産者、生産者団体、県(行政、試験研究機関、普及指導担当者)、市町村、実需者、消費者、農業機械メーカー、(独)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター、北陸農政局等

7 参加申し込み

別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、9月15日(火)までに北陸農政局農産課豆類振興係あてにFAXまたはメールでお知らせください。なお、参加費は無料です。